

# チーム中藤

学校だより第9号  
平成31年3月8日  
福井市中藤小学校



**弥**生3月となり、春らしい温かい日が多くなってきました。学校は年度末を迎え、学習のまとめや次の学年への準備に取り組んでいます。雪がないため、子どもたちは外で遊んだり、自転車に乗ったりする機会が増えてくると思います。気持ちも開放的になってくるので、怪我や交通事故が心配されます。ご家庭や地域でも安全確保のための声かけをお願いします。

学校だよりの発行は、今年度は最終です。地域の皆様、ご家庭の皆様のご支援に厚くお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。

## ◇これからを考える 橋爪氏との交流会◇

毎年、図書を寄贈していただいている橋爪寛一氏をお迎えしての交流会が、2月13日に行われました。今年は趣向を変え、橋爪氏のご講演の後、参加している6年生が「自分の未来を漢字一文字で表そう」という課題に取り組みました。信、志、挑、幸、磨など各自が思いを込めた漢字を紹介し合い、橋爪氏も感心して見ておられました。なお、橋爪氏から寄贈いただいている図書は、これまでに

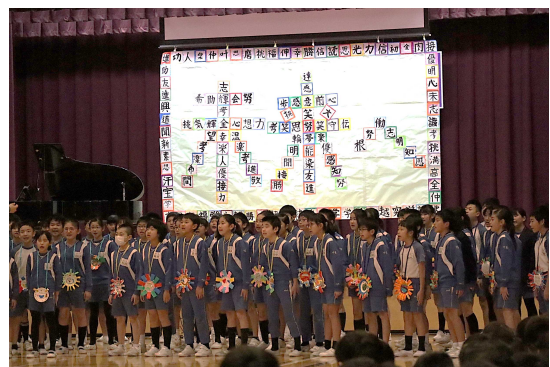
4500冊を超えています。読書の習慣を大事にしていきたいものです。



## ♡感謝の気持ちを込めて 6年生を送る会♡

2月22日、6年生を送る会が行われました。5年生を中心に準備を重ね、これまでリーダーとしていろいろなところで活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを表していました。第1部では、なかよしグループごとに教室に集まり、ゲームやプレゼント渡しを行いました。第2部は体育館に集まり、6年生にまつわるクイズなどで楽しんだ後、引き継ぎ式、在校生からの感謝の呼びかけがありました。6年生は心のこもった送る会に感激した表情でした。一方、5年生は、初めて自分た

ちが中心になって準備してきた集会を成功裏に終え、満足した様子でした。3月1日からは、集団登校や清掃で5年生が副班長・副班長として活動を始めています。バトンを受け継いだ5年生の活躍を期待するとともに、みんなで応援したいものです。



### 今後の主な行事予定

3月11日(月)	卒業記念品贈呈式
13日(火)	第109回卒業証書授与式
22日(金)	修了式
28日(木)	離任式
4月8日(月)	新任式、始業式
9日(火)	入学式

### ◆なかよし shot -⑨-◆

先日、1時間目が始まる前に、1年生教室南側の畑から大きな歓声が聞こえてきました。何かと行ってみると、1年生の子どもたちが、「霜柱」を見つけて大はしゃぎ。最近は冷え込む日が多くはないので、子どもたちにとっては珍しかったのでしょうか。身近にある季節の変化を感じ取ってほしいですね。



裏面もご覧ください。

## 子どもたちのインターネット利用の現状①

～子どもたちに見られる現状や傾向にどれくらい気付いていますか～

下の項目で、お子様に当てはまるものはいくつあるでしょうか？

- テレビを見る時間より、ネットを使用している時間の方が長くなっている
- テレビ番組を「テレビ」ではなく「スマホ」で視聴する傾向が見られる
- 定期考査や受験のための勉強に、スマホやタブレットを活用している
- 「スマホばかり」「スマホやめなさい」等の言葉にストレスを感じている
- 行動、言動、考え方等に、ネットから得た情報の影響を受けやすい
- 都合のいい情報を好み、都合の悪い情報を排除・無視する傾向がある
- 欲しいモノ・やりたいコトの情報に囲まれ、小遣いが足りないと感じている
- ネット上で金銭やポイントを使う・受け取る・貯めることに違和感がない
- 写真や動画を共有することも、友達とのコミュニケーションになっている
- 同世代の子のSNSを見て、コンプレックスを感じてしまうことがある
- 1つのSNSに複数のアカウントを持ち、上手に使い分けをしている
- 同じ趣味や共通の話題で共感しあえる人を信用する傾向がある

保護者の皆さんも「そう思っていた」という項目もあれば、「言われてみれば」という項目もあったかもしれません。今の子どもたちは、スマートフォンが普及した環境で生まれ育った世代です。年齢差や個人差もあるため、上記項目が全ての子どもたちに当てはまるわけではありませんが、特に仲間とのコミュニケーションが欠かせない中・高生の場合、友達同士影響し合うことも多いため、似たような傾向が現れる可能性も高いと考えられます。

保護者世代と比べて、今の子どもたちは、ネットやスマホを活用する術をいろいろ心得ています。例えば、勉強や試験対策にSNSや動画サービスを利用する子も増えており、「スマホを操作している」＝「遊んでいる」と決めつけられ叱られると、腹が立つ、イライラするといった声も聞こえてきます。

大人目線だけではなく、子どもたちの気持ちや感覚の違いを想像しながら、**気になるときは興味を持って尋ね、使い方の把握に努めましょう。**ネット関連の話題で会話をするのも、使い方を知るための有効な手段かもしれません。

また、「子どもにダメだと言っているくせに、大人がやっている」という声は、多くの子どもたちから聞こえてきます。歩きスマホや食事中の操作、休みの日にはゲーム三昧という大人を見ていれば、「自分だってやっているのにズルい」と反発されても仕方ありません。**保護者自身が節度ある使い方を心がけ、子どもたちの模範となるよう心がけましょう。**



<参考>・総務省「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000590558.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000590558.pdf)